

地震体験動画を活用した防災授業の進め方案

【学習のねらい】 360度の大地震再現映像を活用し

- ・児童が地震を身近な出来事であると認識する。
- ・自分が地震にあったらどのような状況になるか、どのような行動をする必要があるかを考えさせる。

■ 360度映像を見せる（冒頭で一時停止）

教員により大型モニターやプロジェクターなどに映し、クラス全員で状況を共有する。

映像冒頭の10秒は大地震が起きる前の状況。

映像を一時停止して周囲を見回し、どのような状況に置かれているのかを理解させる。



■ 考えさせる（各3分程度）

上記のような状況で自分が地震に遭遇したら、どんな危険なことが起こるか自分はどんな行動をするかを考える。

※360度映像は「教室編」「校庭編」「通学編」「室内編」「外出編」の5本。
気分が悪くなった児童には無理に視聴を続けさせない。

<地震体験動画をipadで360°視聴するには、事前にYouTubeアプリのダウンロードが必要となります>

■ 360度映像の続きを再生（各2分程度）

1人一台端末で映像を再生。各シーンで大地震が発生。この状況は他人事ではなく、自分にも起こることだと理解させる。



■ 発見した危険個所の保存（10分程度）

各自の端末で360度動画の中の危険だと思われる個所をスクリーンショットで保存させる。
自分がケガをしないためにどのような行動をすればよいかを考える。

■ グループワーク（15分程度）

保存した画像をグループ内で共有し各自どのように危険だと感じたのかを発表させる。（ロイロノートや同等のアプリを活用し共有）

個人で考えるとともに、考えたことをグループで共有することで個人では気づかなかった視点を取り入れる。



なるべく多くの可能性を検討し、危険性を減らす意識を持たせる

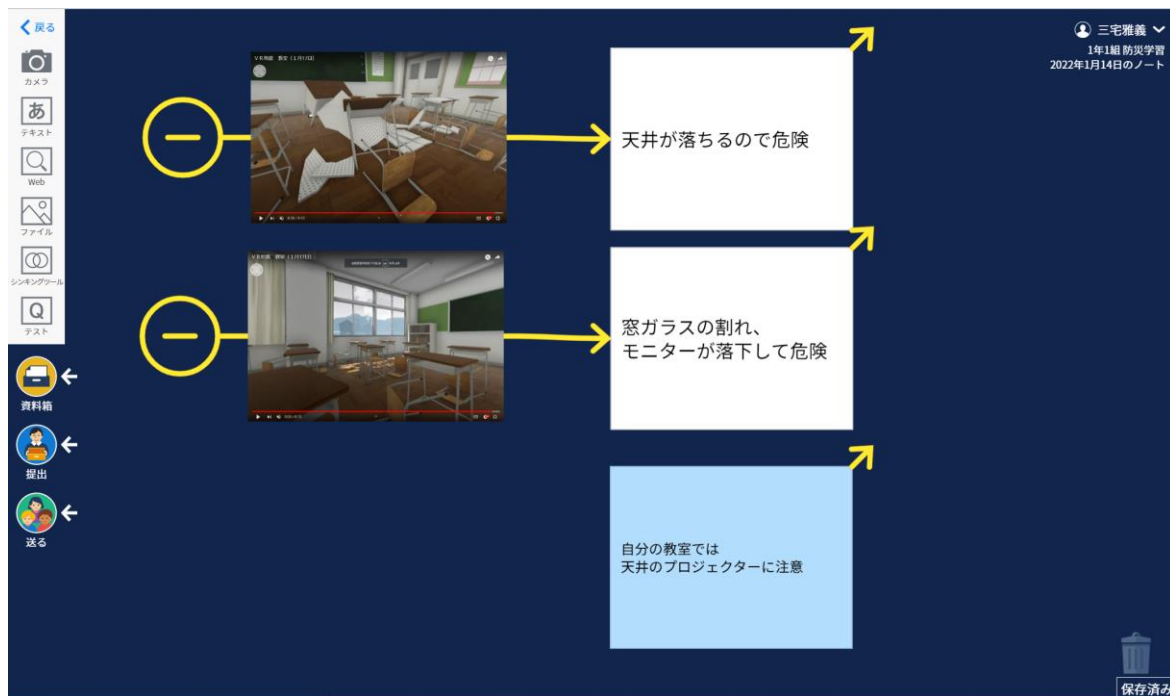
地震体験動画を活用した防災授業の進め方案

【学習のねらい】 360度の大地震再現映像を活用し

- ・児童が地震を身近な出来事であると認識する。
- ・自分が地震にあったらどのような状況になるかどのような行動をする必要があるかを考えさせる。

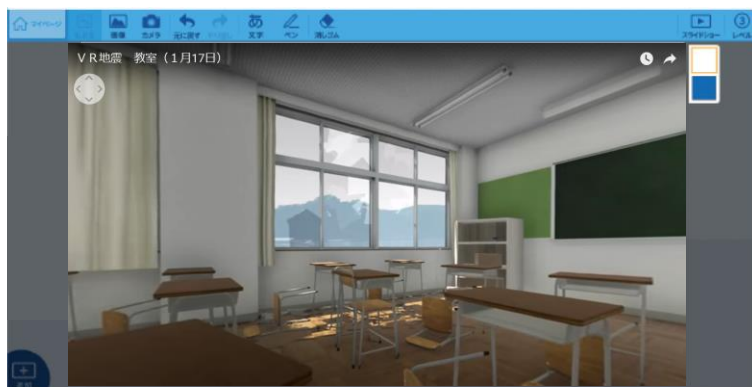
【例】ロイノート利用の場合

危険だと思った箇所のスクリーンショットに対してどのように危険だと感じたのかを記載させ紐づける。最後に自分の環境での注意点にも意識を広げさせる。



【例】スカイメニュー利用の場合

シンプルプレゼン機能などを利用し危険だと思った箇所のスクリーンショットに対してどのように危険だと感じたのかを記載させ紐づける。最後に自分の環境での注意点にも意識を広げさせる。



【例】グーグルクラスルーム利用の場合

「学校防災みえ」サイトより教材をダウンロードし課題を作成、児童生徒に配布する。

「学校防災みえ」サイトから「映像を見て考えよう」の教材をダウンロードし、必要に応じてアプリ内に貼り付けるか、プリントしてご利用ください。